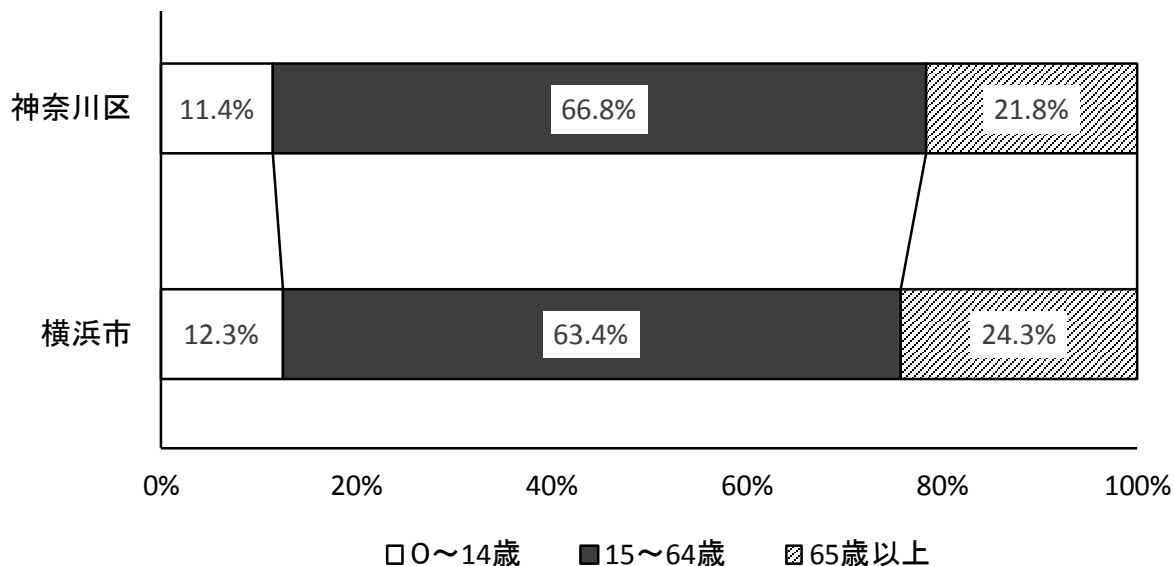


◆年代別人口比率（平成 30 年 1 月 1 日現在）

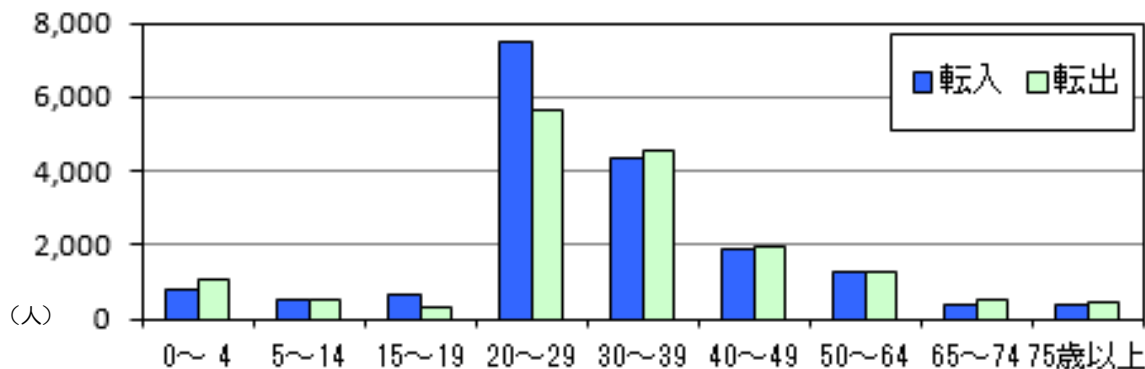
神奈川区は横浜市と比べ、生産年齢人口である 15～64 歳の割合がやや多い。



（資料：横浜市ホームページ「人口動態と年齢別人口 第2部 年齢別人口（平成 30 年 1 月 1 日現在）」）

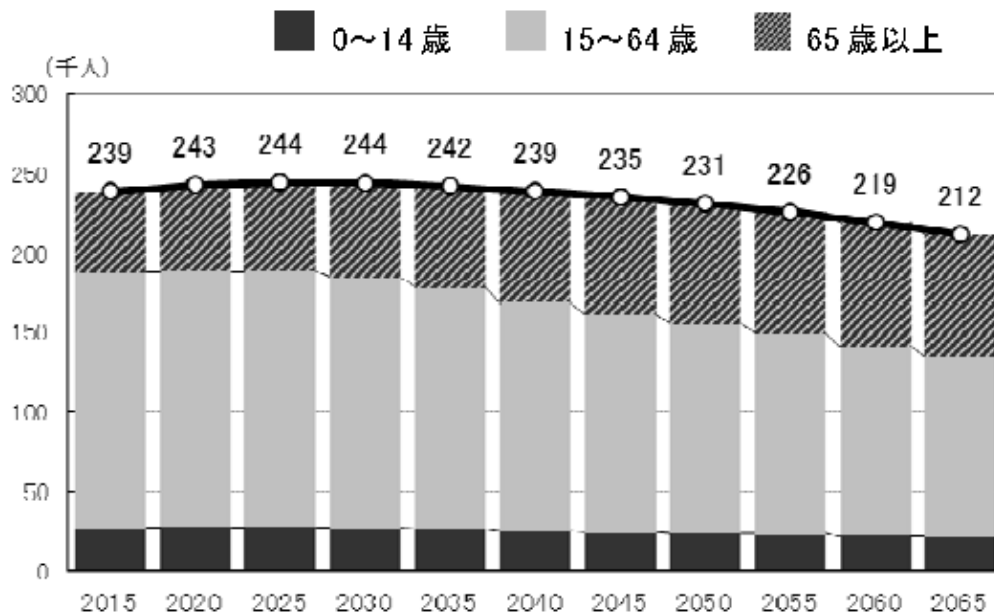
◆神奈川区の人口移動（平成 29 年中）

20～30 歳代の転入転出が多い。



〔資料：横浜市ホームページ「第6表 男女、行政区、年齢区別転入者数及び割合（平成 29 年中）」〕
 〔資料：横浜市ホームページ「第7表 男女、行政区、年齢区別転出者数及び割合（平成 29 年中）」〕

◆神奈川区 将来人口の推移



人口ピーク：244千人（2026年）

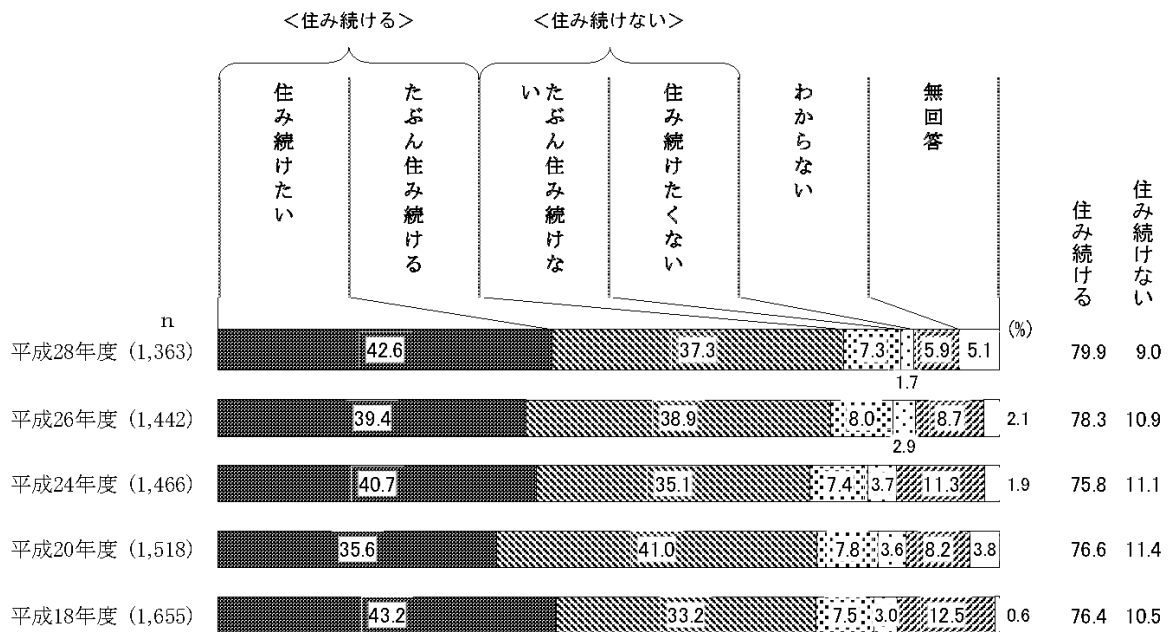
高齢化率：人口ピーク時 22.9%

2065年 36.6%

（資料：平成30年3月27日付け 政策局政策課記者発表資料 参考資料）

◆定住意向の推移

図 定住意向（過去の調査との比較）



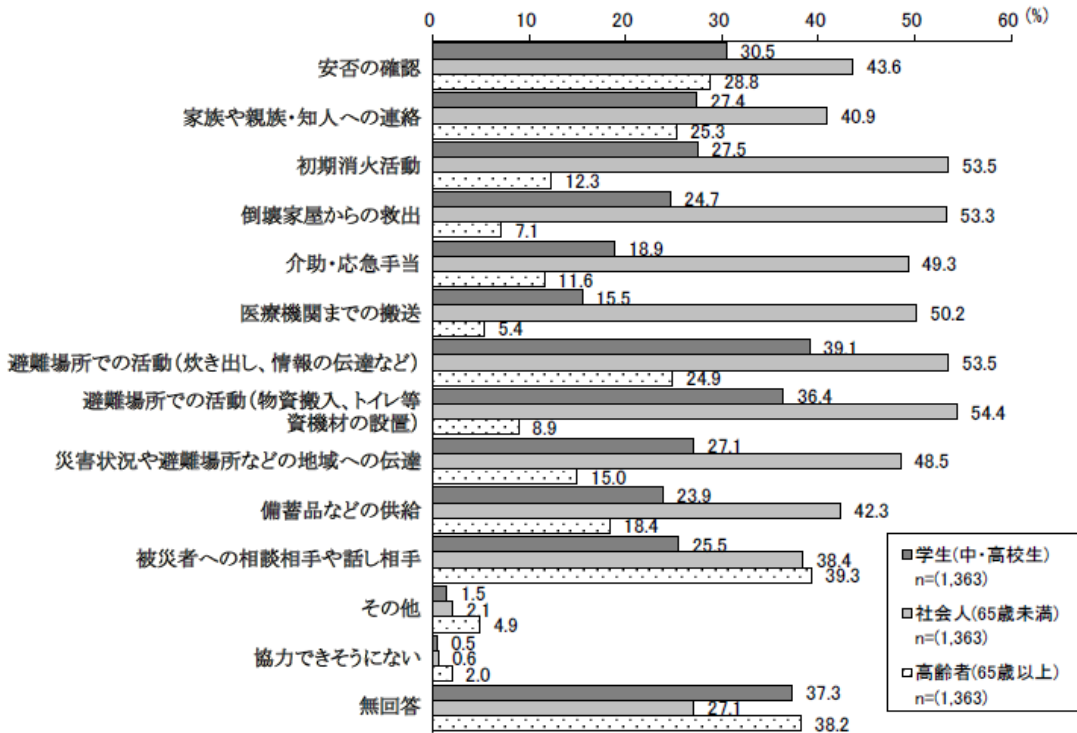
（資料：平成28年度神奈川区区民意識調査）

施策1 安全・安心なまちづくり

◆災害が発生したときに期待している手助け

社会人（65歳未満）には多くの役割が期待されているほか、学生（中・高校生）には「避難所での活動」、高齢者（65歳以上）には「被災者への相談相手」として主に期待されている。

図 災害が発生したときに、期待している手助け [全体] (複数回答)



(資料：平成28年度神奈川区区民意識調査)

◆区内の建物不燃化の補助対象地区

横浜市では、地区の古い建物の取壊しや燃えにくい建物への建て替え・改修などに補助金を交付している。神奈川区の不燃化推進地域は、市内でも最大の面積である。



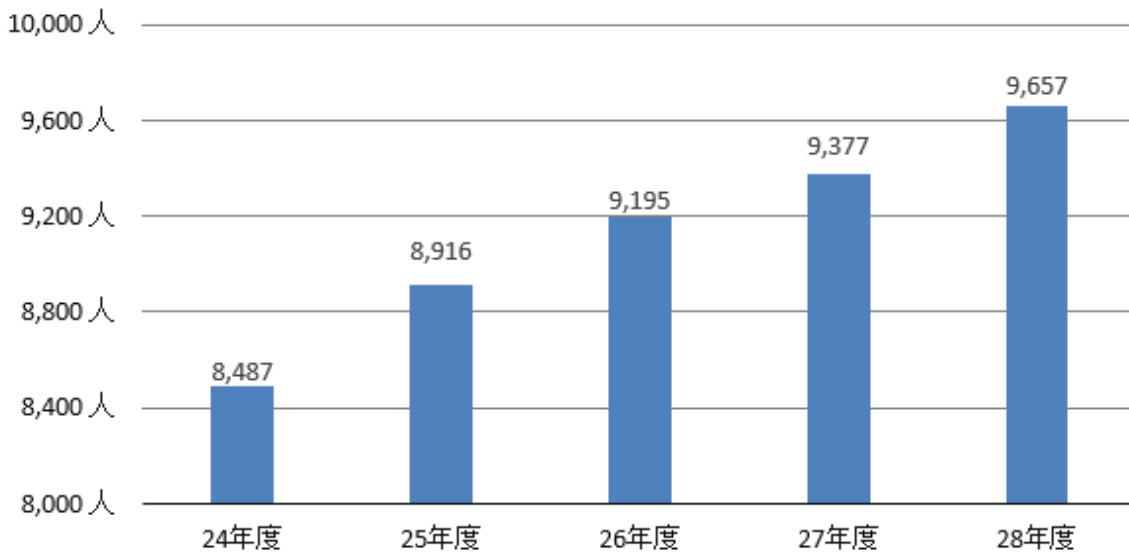
■不燃化推進地域とは

横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例第5条第1項に基づき、「地震火災が発生した場合の延焼により建築物に著しい被害が生ずるおそれのある地域」として市長が指定した地域。

施策2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

◆区内の要介護認定者数の推移（平成24～28年度）

区内の要介護認定者数は増加傾向にある。

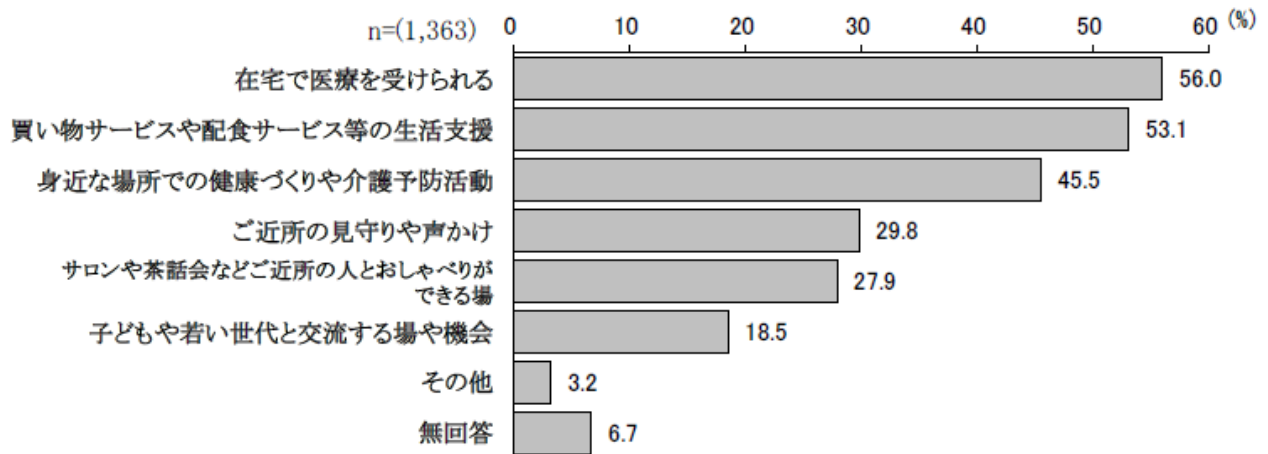


（資料：横浜市ホームページ「高齢者福祉の案内」要介護認定者数〔各年度3月末現在〕）

◆高齢期において受けてみたい支援（サービス）

「在宅で医療を受けられる」が最も高く、次いで「買い物サービスや配食サービス等の生活支援」、「身近な場所での健康づくりや介護予防活動」が受けてみたい支援（サービス）として高くなっている。

図 高齢期において受けてみたい支援（サービス）[全体]（複数回答）



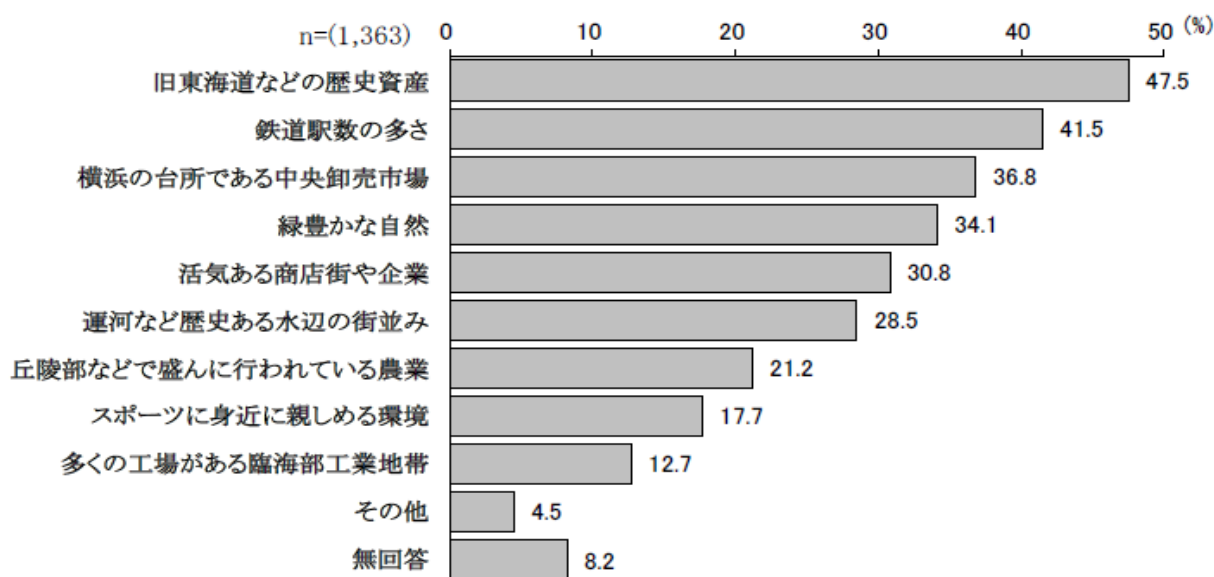
（資料：平成28年度神奈川区区民意識調査）

施策3 魅力にあふれ活力あるまちづくり

◆積極的にPRしていくとよい神奈川区の良さや特徴

「旧東海道などの歴史資産」が最も高く、次いで「鉄道駅数の多さ」となっている。

図 積極的にPRしていくとよい神奈川区の良さや特徴 [全体] (複数回答)

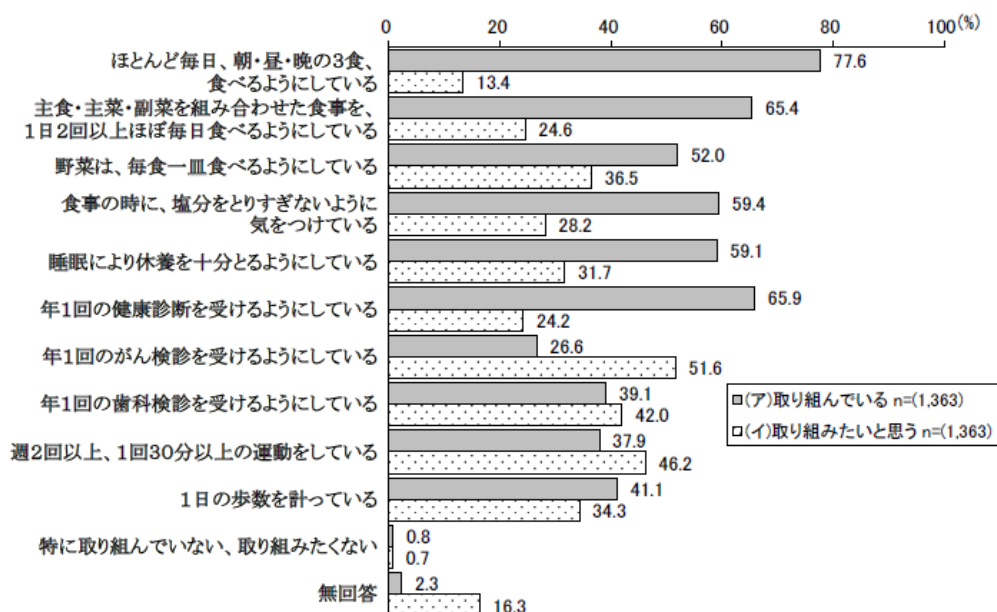


(資料：平成 28 年度神奈川区区民意識調査)

◆健康のために取り組んでいること、取り組みたいこと

健康のために取り組みたいことは、「年1回のがん検診を受けるようにしている」が最も高く、次いで「週2回以上、1回30分以上の運動をしている」、「年1回の歯科検診を受けるようにしている」となっている。

図 健康のために取り組んでいること、取り組みたいこと [全体] (複数回答)

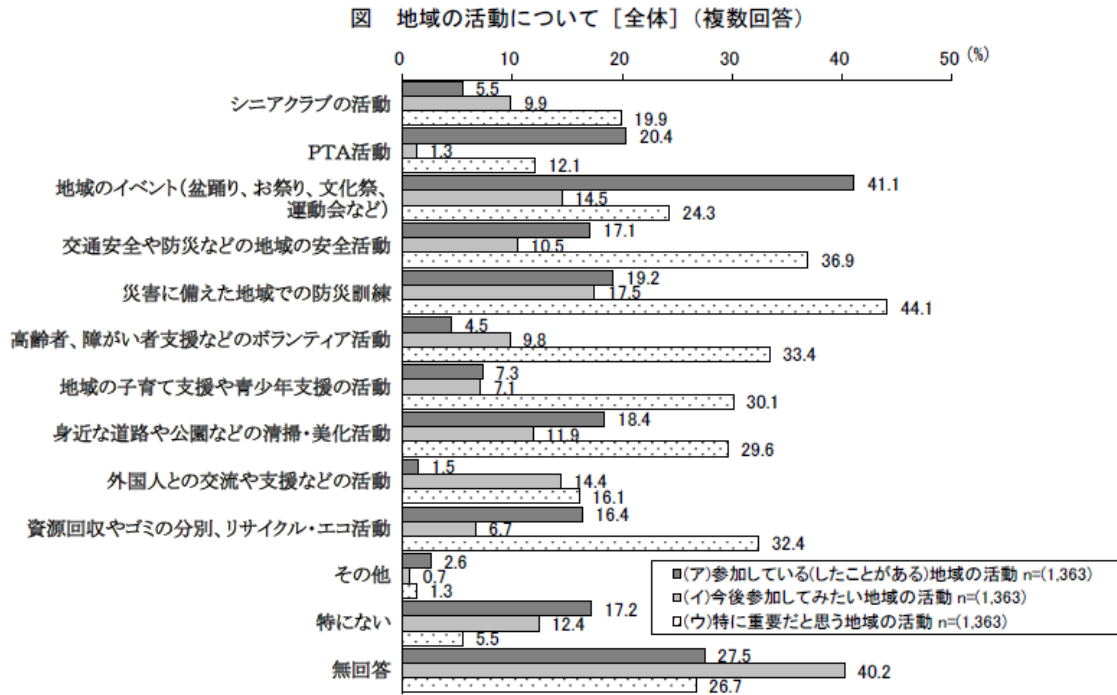


(資料：平成 28 年度神奈川区区民意識調査)

施策4 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり

◆地域の活動について

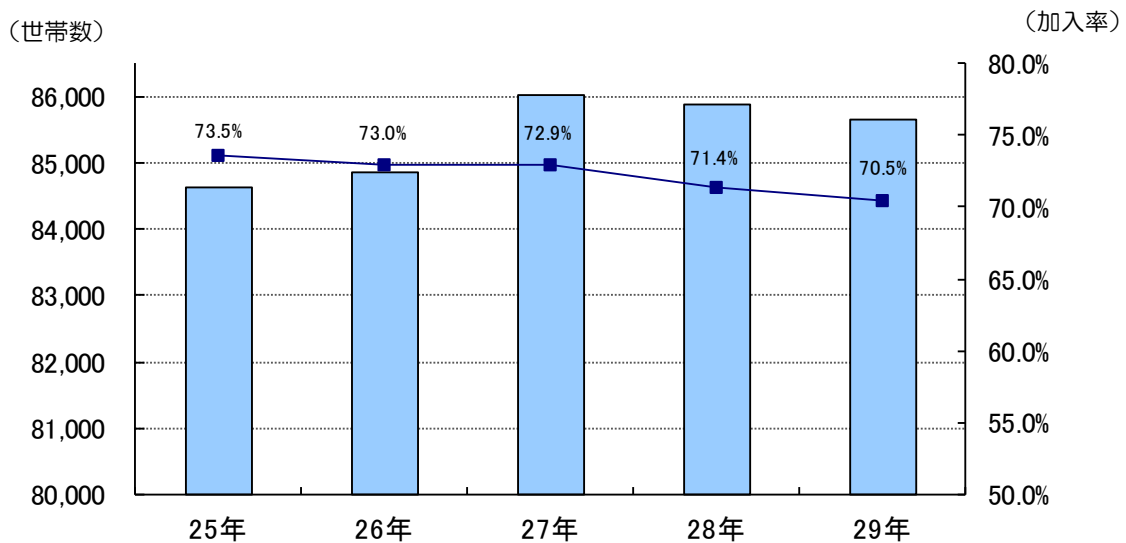
参加している(したことがある)活動では「地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)」が、今後参加してみたい活動では「災害に備えた地域での防災訓練」が、特に重要だと思う活動では「災害に備えた地域での防災訓練」が最も高くなっている。



(資料：平成28年度神奈川県民意識調査)

◆自治会町内会加入世帯数・加入率の推移

自治会町内会には、約7割加入しているが、加入率はやや減少傾向にある。



(資料：横浜市ホームページ「自治会町内会加入状況」)